

42. サザエ 栄螺



◇撮影後のコメント◇

固いねえ。試食ではなんとか噛み切れたが、歯が丈夫でない方には、相当噛み辛であろう。ネタと酢飯が仲良くなる工夫は出来たが、噛みやすさを目的に隠し包丁の課題が見つかった。固い以外は上品な磯の風味と、ほろ苦さ、噛めば噛むほどしみ出る旨味で大変好い。アナウンサーの方はこれを好んで召し上がる。飲み物らしい。

サザエ君は、成績優秀にして品行方正。優等生である。しかし、1つ欠点がある。お堅いのである。もう少し柔軟な対応を望む。特に酢飯さんとの相性がやや難である。サザエ君一人の評価はすこぶる高いが、酢飯さんとのコンビは、周囲を少し心配させる。サザエ君には申し訳ないが、これが全てでこれ以上書けない。了承してくれ。以降のマス目は、前項のマダコについて加筆する。初めて県産の「いわだこ」を美味しいと感じたのは、船釣のお土産で貰ったものである。その経緯は、いつも利用する能登島の遊漁船（主たる業務はタコ漁）でたまたま全員がボーズに近い惨憺たる釣果で、それを気の毒に思った船頭さんが全員に1匹ずつ網に入った「いわだこ」をお土産として進呈してくれたのである。帰って茹でてタコ刺しにした。なんとも噛めば噛むほど旨味・風味が湧き出してくるのである。その船頭さん高齢につき引退。もう乗れない。お達者で、そしてありがとう。